



アジア景観デザイン学会 2014 台北研究大会

テーマ：未来へ幸せをつなぐ景観

日時：2014年11月29日土曜 13:30-16:40

場所：中国文化大学推広建国本部大夏館表演庁（住所：台北市建国南路二段231号B1）

主催：アジア景観デザイン学会、後援：中国文化大学、台北市

台北研究大会開催に当たって：

アジア景観デザイン学会は、都市、農村等地域の優れた景観形成のためのデザインの研究・開発・改良・発展に寄与することを目的として設立され、日本とアジアの各都市で研究大会を開催しています。このたび、アジアの拠点都市、デザイン都市を目指す台北市とアジア諸都市の新たな発展を考える機会にできれば幸いです。皆様の参加をお待ち申し上げます。

13:00 開場

13:30 開会あいさつ 坂井猛（アジア景観デザイン学会会長、九州大学教授）

基調講演（逐次通訳、30分）

13:35 2016 TAIPEI ADAPTIVE CITY と台北市の都市色彩 李天任（中国文化大学学長）

第1部 台湾の魅力再発見（逐次通訳、発表20分）

14:05 台湾の景観の緑の壁応用について 郭瓊瑩（中国文化大学景観学科学科長・教授）

14:25 近代建築と景観の活用について 台湾の嘉義の事例 董建宏（中興大学景観建築及びレクリエーション学科助理教授）

14:45 台湾の都市景観 仮設空間の事例について 郭維倫（中国文化大学景観学科助理教授）

（休憩10分）

第2部 研究発表（逐次通訳、各発表20分）

14:55 「九州大学箱崎地区における近代建築の総合評価に関する研究」 常岡稔（TM環境・建築研究所）

15:15 「パブリックアートによる記憶を刻む景観づくりー都市と歴史と人の関係」 渡辺真理（タウンアート）

15:35 「九州大学前学生寮の新たなライフスタイル構築」 國将弘（三好不動産）

15:55 「スリランカにおける水を活かした景観デザイン」 プラサンナディビガルピティヤ Prasanna Divigalpitiva（九州大学准教授）

16:15 学会表彰発表 坂井猛（アジア景観デザイン学会会長、九州大学教授）

16:35 閉会あいさつ 佐藤優（アジア景観デザイン学会名誉会長、九州大学副理事）

16:40 閉会

About the Urban Color Environment and 2016 Adaptive City in Taipei.

1. 研究の背景と目的

台北市は、日本統治時代以降、近代的な都市計画を始め、近代都市景観を発展させた。特に、当時建てられた建物は周辺の環境に強い影響力を持っている。戦後、経済が発展し、現代的で人工的な景観が見られるようになった。こうした、台北市は歴史と自然が残る一方で、現代的な生活空間があり、多様な文化が交流し、変化に富んだ歴史空間が残されている。これらの台北を特徴づけている魅力をより一層引き立てるため、台湾独自文化の色彩と調和した色彩をすることが大切であり、また台北市に対して未来へ現代的で国際的な発展をするのが重要な課題である。台北市政府は 016 世界デザイン都市に参加する予定である。風土と景観が馴染むような環境色彩と環境デザインが期待されている。その結果つくりだされた都市の環境が、文化的に伝承されてきたと考えてよいだろう。

2. 調査の方法

ナチュラル・カラー・システム(Natural Color System、NCS)を利用し、環境色彩調査を行った。環境色彩のフィールドワークは景観の映像による取材、特に歩行中の観点を重視する。

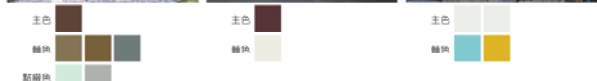
また、①遠景をとる一地形全体の鳥瞰的な把握、②中景をとる一地域の自然的と文化的把握、③近景をとる一場面の意味をとらえる。そして、景観の色は、あらゆる色材、事物、自然まで含み多岐多様にわたるので、それらを一一つ色票で測定することとなる。

3. まとめ

台北市の環境の色彩と環境構成の関係を分析した結果、この地域では、商業の複雑さによって、色彩構成と商業は関連性を持つことが明らかとなった。特に商業地区は、都市の景観にふさわしい広がりを感じさせる賑わいの雰囲気を出している。一方、清の時代、日本統治時代の風格のある建築物が保存され、古いものと新しい建築物が共存し魅力あふれる景観を創出している。今後も 2016 世界デザイン都市として価値を向上させていく

参考文献

- 1) 小林重順 (1994). 景観の色とイメージ 生態学的心理学入門 ダヴィッド社.
- 2) 台北市政府都市発展局 (2013). 台北市城市色彩計画 台北市政府.



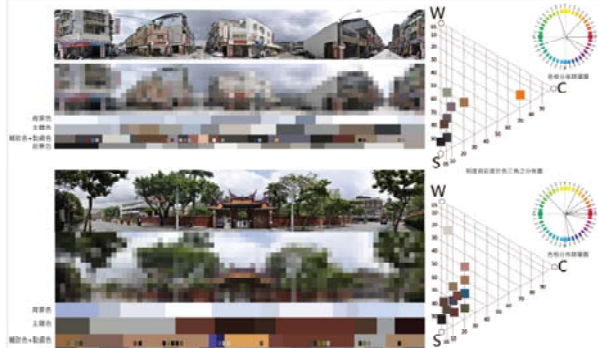
周辺街廓全景及色彩取様分析



台北市大安區青田七六



周辺街廓全景及色彩取様分析



台北市大同區保安宮

Case Study of Green Roof and Vertical Greening in Taiwan

台湾の人口密度は高く、発展と建設は非常に緊密である。全体的な問題としてはオープンスペースとグリーンスペースの不足である。近年、ヒートアイランドの影響で地球温暖化が都市地区の年平均温度と世界年平均温を比べると1.5度が高くなった。また、台北市には一人当たり平均グリーンスペースは5.1m²である。2009年に台北市政府が国際花博覧会の準備中に、緑の壁を工事現場に使用する条例を作った。また、市内の小中学校にも屋上グリーンスペースや緑の壁などを進めることにしている。さらに、台北市政府は「台北好好看」という制度から都市の中に空地や都市更新地を緑化することを進める。都市デザインの委員会でも、立体的な緑化、建物の容積率評価が項目になった。2014年から各大都市の建築管理規制には、新築の屋上は50%以上の面積を緑化するという規制を行った。また、台湾で「緑建築」の制度を進めているので、公的な工事、住宅、商業建築、ホテル、旅館など、屋上グリーンスペースや立体的な緑化を行っている。さらに、民間には「緑屋上協会」という組織を成立し、関連技術と教育訓練などを提供している。今回は台湾の各都市に今までに建設した屋上グリーンスペースと立体的な緑化を紹介し、行政と民間が行った成果を報告する。



一、はじめに

ボトムアップ計画システムを通じて、コミュニティの中で互いに経験を交流する。また、コミュニティの住民の生活環境を再計画、フリースペースを利用し、住民がコミュニティの中で緑の街づくりに参加すること。

二、計画の目標

1. コミュニティのプランナーと住民が共同で生態的なアーバンデザインに参加し、市内に緑化の空間デザインを企画すること。
2. 合計四十箇所フリースペースを改造し、緑化の空間デザイン、透水性舗装を増加する。美しく視覚貫通できるオープンスペース。
3. 市内に緑化スペースを増加し、ヒートアイランドを減少する。
4. 街のファサードの景観緑の創出、生態的なアーバンデザイン概念を提唱する。
5. 郊外とコミュニティを緑化し、環境整備し、緑の生活空間を提唱する。
6. 省エネルギー、廃棄物削減、換気透過性の水の保全、リサイクル、緑スペースの増加、生態回復、都市美学など概念を応用する。また、簡単な方法でデザインし、時間節約を強調し、低メンテナンス、グリーン建築の概念を統合する。特に、使う材料は環境に配慮した製品やリサイクル材料を優先して使用し、生態的な都市の基本構造を構築する。

三、項目と内容について

1. コミュニティ住民の説明会

本計画は嘉義市の東区と西区で一回ずつ計画説明会を行った。説明会は計画の実行方法について、計画の内容と流れなどを説明した。参加者は主に町内会会長、コミュニティ発展協会、コミュニティプランナー代表である。

2. 県外交流と見学活動

本計画は台南市の西湖コミュニティ及び大湖コミュニティにおいて交流と見学活動を行った。町内長とコミュニティ説明員から今までの台南市のコミュニティの参加した内容及び緑化デザインの状況の説明を受けた。またコミュニティ中で街づくりのプロセスや成功した経験をお互いに交流し合い、本計画の参加者にも企画とデザインを参考できるようにする。

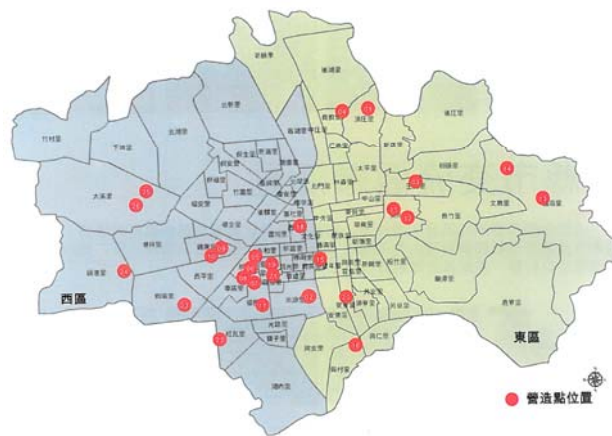
3. 教育ワークショップ

コミュニティの環境を改善し成功することは、計画に携わる人材を育てるために大切なことである。したがって、本計画の初期に教育ワークショップを行った。内容としては、コミュニティの街づくりのプロセスを学び経験を積む

ことである。教育ワークショップから正しい概念を学び美しい生活環境を企画できる能力を高めることをめざす。

四、コミュニティの街づくりの成果

本計画はコミュニティに美しい緑化や生態的な概念を導入し、またコミュニティのプランナーを育成し、それぞれコミュニティが自発的に成長することである。特にワークショップの参加者はリーダーシップの役割を持ち、コミュニティに生態的で、美しい環境など、地元住民の意識を高めることが、コミュニティが生態的な都市になるのに大切なことである。



嘉義市コミュニティ改善場所図

五、まとめ

本計画により都市の生態化がみられた。都市の景観が緑デザイン増加することで雨水の浸透率を上げた。そしてヒートアイランドを減少させ、生物の環境を増加、省エネルギーと空気の品質を改善した。また緑スペースの増加と透水性舗装を増加することができた。

コミュニティ環境改善成果比較表

年度	項目目	改善場所面積 (m ²)	緑スペース面積 (m ²)	透水性舗装面積 (m ²)
2009年度		1058.5	688.6	761.5
2010年度		4279.0	2871.8	3386.2
2010年度増加		3220.5	2183.2	2624.7
増加パーセント		304.2%	317%	344.6%

The Landscape Architecture in Taiwan – Case studies on Spatial Composition of Temporary

1. 研究の背景と目的

本研究は、台湾の特殊な街路構造によって生じる「仮設空間」という空間に着目し、時間帯によって夜市の空間がどのように表情を変化していくかを考察していくこととする。特に台湾の「仮設空間」は台湾の日常生活でよく道路や市場の敷地を利用し、日常生活で大勢の人が自然に集まり賑わいを見せている。台湾の都市においても、夜市に賑わう雰囲気を生み出し、人々がコミュニケーションする生活感の溢れた環境を創り出してきたエレメントであり、台湾だけではなくアジア都市には必要な都市エレメントであるとの見方もある。

2. 調査の対象地と方法

本研究の調査対象都市は台北市、台中市、高雄市及び花蓮市である。上記対象地、路上販売と夜市の仮設空間が都市環境の中で店舗や屋台をどのようにレイアウトしているか、周辺環境とどのように折り合いをつけながら、店舗、屋台や露店といった路上販売の仮設空間を組み立てているかを調査すると、以下のようなタイプの類型が見出せた。

3. 仮設空間の空間構成の類型

3-1. 移動式

3-1-1. 路上販売型



台北の師大夜市の路上販売の様子

3-1-2. リヤカー、トラック型



台南の花園夜市のトラック販売の様子

3-2. 組立式

3-2-1. 簡易組み立て台型



台中の逢甲夜市の簡易組み立て台販売の様子

3-2-2. 仮設仕切り型



台中の逢甲夜市の仮設仕切り型の様子

3-3. 固定式



台北の師大夜市の固定式販売の様子

4. まとめ

台湾の都市において、人々を都市の中心部あるいは夜市へ引き付ける要因は計画的になされた建築デザイン、都市デザインおよび都市計画だけではなく、一時的な仮設空間と計画された空間が形成する行動セッティングであることがわかった。

参考文献

- 1) ウィッカー A.W. 安藤延男(訳) (1994). 生態学的心理学入門 九州大学出版会.
- 2) 出口敦 (2005). アジアの都市共生－21 世紀の成長する都市を探究する 九州大学出版会.

1. 研究の背景と目的

九州大学は、福岡市西部に建設した新キャンパスへの移転過渡期にあり、旧キャンパスである箱崎地区を売却処分する予定である。箱崎には、九州帝国大学が設置された1911年以降、百年間にわたり活動してきた資産として、近代建築物が数多く残されている。本研究は、箱崎地区に点在する近代建築物について、歴史、建築学、文化および再活用という多様な観点から、近代建築物の価値を検証する手法を構築することを目的とする。

2. 研究の方法

評価にあたって、まず、学内外の学識者を中心とした構成員からなるワーキンググループを構成した(表1)。現存する1910年代から1960年代の建築物30件の近代建築物を現地調査の対象とし、委員による建築物等の現地調査を実施し、24棟の建築物、3件の工作物を評価の対象に絞り、各物件を採点し評価するとともに、構築した手法について考察を加えた。

3. 近代建築物調査WG

2012年度に九州大学跡地利用将来ビジョン検討委員会を組織し、跡地利用ビジョン策定を行うにあたって、同委員会に「九州大学箱崎キャンパスにおける近代建築物の調査WG」を設置し、2012年4月27日から12月4日まで7回にわたって検討を行った。

4. 評価項目の選定

近代建築物の客観的評価にふさわしい評価項目の絞り込みをワーキンググループで行い、歴史的評価、建築学的評価、文化的評価、再活用度評価の視点の4項目とし、さらに、中項目として7項目(大学の歴史的経過と卒業生の記憶。社会・時代・産業遺産、営繕制度、技術史・構法・素材・建築設備・環境配慮、文化的資産、地域への貢献度、再利用)を設定し、各委員の採点を集計した(表2)。

5. 評価結果と考察

箱崎地区の近代建築に関して、以下のような知見を得た。(1)九州大学箱崎地区における近代建築群は、百年の歴史と文化が詰まった社会的、都市的資源であり、多くの建築物が有形文化財としての価値を有することを確認した。(2)箱崎キャンパスの南東部地区は、九州帝国大学の歴史と文化の揺籃と成長の場所であり、そこに評価の高い建築物の大部分が集積している。(3)特に評価の高い建築物が工学部本館、本部第一庁舎、正門門衛所であり、単体としてはもとより、群としても高

表1 近代建築物の調査WG委員会(2012年4月)

■委員長	常岡 稔	T M環境・建築研究所・代表
■委員	佐藤 優	九州大学副学長(サイン, 景観)
	折田悦郎	九州大学教授(日本近代大学史)
	高田 仁	九州大学准教授(経済学)
	蛭川利彦	九州大学教授(建築構造)
	土田充義	鹿児島大学名誉教授(建築史)
■オブザーバー		
	坂井 猛	九州大学教授(建築、都市景観)
	市原猛志	九州産業大学景観研究センター、 博士研究員(近代遺産)

表2 評価結果(一部)

順位	種名称 (建設当初名称)	構造	規模(階数・地下、面積)		採点 (満点)	採点率	評価項目											
			階数	面積			歴史的評価	建築学的評価	文化的評価	再活用度評価								
1	工学部本館	鉄筋コンクリート造 (近代建築研究室)	5	16,324	94	19.81	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83
2	本部第一庁舎 (建築研究室)	煉瓦造	2	2,988	92	19.47	2.83	2.66	2.83	2.66	2.83	2.66	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83
3	正門門衛所	煉瓦造	1	34	84	17.82	2.83	2.50	2.50	2.33	2.66	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
4	保存図書室(国文学部図書 関係図書室)	鉄筋コンクリート造	4	3,008	83	17.48	2.66	2.00	2.66	2.33	2.66	2.33	2.66	2.33	2.66	2.33	2.66	2.33
5	本部第三庁舎	煉瓦造	2	280	81	17.15	2.66	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
6	旧定方研究生産課本館 (国文学部本館)	鉄筋コンクリート造 (近代建築研究室)	4	9,570	80	16.81	2.66	2.50	2.83	2.16	2.33	2.50	1.83	2.16	2.33	2.50	1.83	2.16
7	応用物質化学機材教室 (応用化学教室)	鉄筋コンクリート造	4	2,782	77	16.31	2.50	2.83	2.66	2.50	2.33	1.83	1.66	2.50	2.33	1.83	1.66	2.50
8	国文学部心理学教室	鉄筋コンクリート造	2	428	72	15.32	2.50	2.50	2.33	2.16	2.00	1.83	2.00	2.16	2.00	1.83	2.00	2.16
9	新館南洋字室(新館) (造船学実験室)	煉瓦造	1	402	69	14.65	2.50	2.33	2.33	2.50	1.83	1.66	1.50	2.50	1.83	1.66	1.50	2.50
9	創立五十周年記念講堂	鉄筋コンクリート造	2	6,117	69	14.65	2.50	2.00	2.16	2.33	2.16	2.00	1.83	2.16	2.00	1.83	2.16	2.00

く評価でき、保存再活用が望まれる。

(4)課題として、箱崎キャンパスの近代建築物を仮に再活用する場合は、建築基準法に照らした用途変更等の法的手続きが必要となること、また、安全性確保のため、老朽化防止、地震及び台風などの外力による損傷・倒壊を防止する工事や法的に改修工事が必要な場合があり、再活用するには、相当額の費用が必要となることが指摘された。

本研究による評価方法とそれに基づく評価は、跡地利用ビジョン策定委員会検討し、特に評価された3件を保存し、特徴的な意匠を有する近代建築物の活用を検討することを確認した。さらに、持続的な成長に資する新たな活力・交流を生み出すことなどを基本方針とする跡地利用ビジョンを策定し、跡地利用計画の策定に移行することが可能となった²⁾。

参考文献

- 平成17年度九州大学箱崎キャンパス内歴史的資源の現状調査」成果報告書、九州大学、2007年2月
- 九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン、九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会、2013年2月



アジア景観デザイン学会 2014 台北研究大会

パブリックアートによる記憶を刻む景観づくり

～ 都市と歴史と人の関係 ～

株式会社タウンアート 渡辺真理

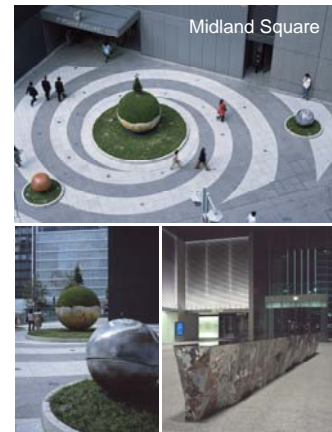
株式会社タウンアートは1980年代から「創造性ある公共空間の創出」を目的としパブリックアートによる環境づくりの実践に取り組むプロデュース会社です。近年アートは見る人々へのメッセージを表現し、地域の歴史や人々の記憶を残し、或いは人々が実際に創造のプロセスに参加する等、共に考え作り上げる特有の場づくりとして発展しつつあります。

本日は弊社の日本と台北の実績の中からパブリックアートによる、歴史や記憶を刻んだ、メッセージ性の高い景観づくりの事例をご紹介します。

【事例1. ミッドランドスクエア・名古屋】

再生材を象徴としてアートワークに使用・未来へとつなぐ

トヨタ自動車・毎日新聞・東和不動産のビルが老朽化に伴い解体、敷地を統合して三社合同ビルが新築され、オフィス・文化・商業施設を含む超高層複合ビルとして生まれかわった再開発事業。再生材を実際に使用して、各社の旧社屋への想いや歴史、未来への期待、企業姿勢をアートを介してアピールする。そんな景観づくりが施設内外随所に採用されました。



【事例2. プリーゼタワー・大阪梅田】

建築とアートのボーダレスな環境づくり・失われた情景を再現

かつての水の都が次第に埋め立てられ、現代都市として変貌を遂げた西梅田地区。その地下道に、アートワークによってまるで歴史を掘り起こした「水の遺跡」のように力強く水流を刻みつけ、プリーゼタワーへと人々を迎え入れるインパクトある景観を創り出しました。



【事例3. 理化学研究所・計算科学研究機構】

日本が誇る、研究の歴史と現在・未来を視覚的に表現する

次世代スーパーコンピュータ(京速コンピュータ「京」)を擁して先進の科学的成果を生み出し、地球規模の課題解決やイノベーションへとつなげていく。この施設は日本屈指の国際的な研究拠点として外国からの研究者等、訪問の多い場所です。来所者を迎え入れるエントランス計画には、日本が誇る研究の歴史と現在・未来へのつながりを視覚的に表現する、そんなシンボリックな景観づくりが求められ、そこにアートワークが寄与しています。



【事例4. 台北市立大学(旧台北体育学院)・天母キャンパス】

心にメッセージを届け、街や人が関わることで成長・循環する景観

都市の交差点に接し、市民が自由に使用可能な公開広場を有し、地域の日常に密接に関わっている大学キャンパスに、台北市政府の公共芸術事業としてアートワークで街と人が関わり、サステイナブルな循環を生み出す場所を創り出しました。歴史やメッセージを秘めた都市のランドマークとしてだけでなく、人の活動サイクルを作って愛着を育むと同時に、成長し変化する植物の存在が都市と人々の共生する豊かな景観を形成しました。



Lifestyle Development of Private Dormitory in front of Kyushu University

1. 研究の背景と目的

九州大学は、2019年までに福岡市西部の伊都新キャンパスへの移転を完了する予定であり、約2万人の学生と教職員が通うことになる。2001年に産官学で策定した九州大学学術研究都市構想に基づき、隣接地の元岡で土地区画整理事業による九大新町が生まれ、研究所や学生の居住エリアとして開発中である。本研究は、九大新町における新しい民間学生寮を対象として、新たな学生居住スタイルを明らかにすることを目的とする。

2. 事業者と学生ワークショップ

学生と事業者のワークショップ形式により、民間学生用集合住宅の計画と運用に関する意見交換を重ねた。施設の概要は、以下の通りである。

- ・建物名：九州大学前学生寮
- ・所在地：福岡市西区元浜1丁目20番2.3.6.7.
- ・敷地面積：1616.89㎡（約489坪）
- ・構造規模：鉄筋コンクリート造7階建
- ・規模：延床面積約4,585㎡
- ・構成：住居140戸、ミーティングルーム4室、ITラウンジ、食堂、屋上テラス
- ・共同研究ワークショップ：8回開催
- ・アーバンデザイン会議ワークショップ：1回開催
- ・工期：2014年5月1日～2015年3月14日
- ・設計：株式会社毎日コムネット
- ・施工：株式会社内藤工務店

3. ワークショップの成果

学生と事業者によるワークショップを2013年8月から2014年3月まで8回開催し、意見を集約した。

- ・部活やサークルで使用できる場所が必要である。
- ・不要となった本を持ち寄り、ストックしていける本棚を設置してはどうか。
- ・深夜まで、1人でも、仲間同士でも、集まって勉強できるコワーキングスペースが必要である。
- ・学生が気軽に立ち寄ってコミュニケーションをすることができるスペースが必要である。
- ・ガラス張りの集まりやすい環境が必要である。

さらに、アーバンデザイン会議九大（UDCQ。産官学によるまちづくり会議）において、2013年9月にワークショップを開催し、参加者の意見を集約した。

- ・地元町内会で学生と交流する場を設けたいが、誰に言えば良いのかが分からない。
- ・パーティやイベントなどに使えるスペースを設置し、地域に公開したらいいのではないか。
- ・ガラス張りにして、中で何をしているかを見せることで、まちの賑わいに寄与できると思う。建物の圧迫感の軽減にもなる。

ごく少数ではあるが、大学の生活になじめず引きこもり、後に退去する学生がいるため、事前の対策を講じる必要がある。また、子供を一人暮らしさせる時に、親が気にしていることは、食事、セキュリティ、病気になった時の対応、などであり、ゆるやかに見守りができる環境が必要である。

4. 学生用集合住宅計画への反映

ワークショップの意見を元に、計画に反映した事項は、以下の通りである。

(1) ミーティングルーム4室の設置

テーブル・椅子を備えたミーティングルームを各階に設置し、造り付けの本棚を設置している。そのうち1室をITラウンジとし、九州大学システムLSI研究センター石田浩二准教授の協力を得て、WiFi環境を装備し、ノートパソコンを持ち込み打合せを行えるようにしている。また、プリントアウトすることが多い学生のために、学生寮内にカラー複合機を設置し、データをクラウド上にアップして、複合機で個人認証を行いプリントできるようにしている。

(2) 24時間開放型食堂の設置

食堂を24時間利用することができ、WiFi環境に加え、深夜の集まりをサポートするカップコーヒの自販機や食品販売機を併設し、大画面によるスポーツ観戦も可能にする。

(3) 屋上テラス

建物4階に屋上テラスを設け、伊都キャンパスを望むテラスで、バーベキューや、読書のできる憩いのスペースを提供する。

(4) 仮称元岡サロン

学生寮の1階を全面ガラスサッシにして、町内会、学生、教職員など、誰でも気軽に立ち寄って交流ができるスペースとする。また賃貸店舗を併設し、学生のお部屋探しに貢献する。

(5) セキュリティと見守り

エントランスと各階フロア入口をオートロックとし、食堂の喫食管理に、ICカードセキュリティシステムを採用する。また、学生寮近くの森本医院と提携し、急患対応と症状に合わせた病院紹介の体制を整えている。食堂では、体調がすぐれない学生のためにおかゆなどの病人食にも対応する。

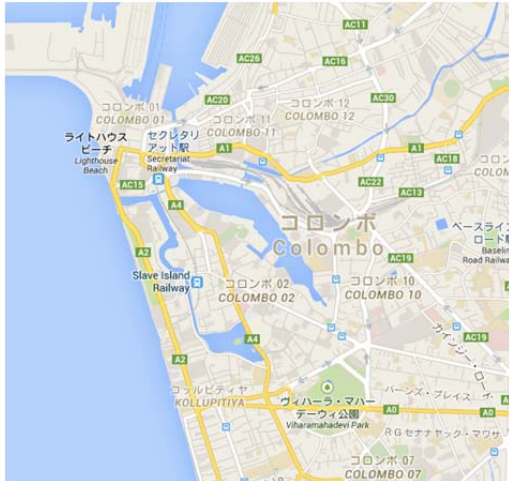
(6) ドミトリーリーダーの設置

さらに、学生寮の開設2年目に、ドミトリーリーダー制度を導入し、学生のコミュニティだけではなく、町内会や地域住民との交流にも積極的に関わることで、学生リーダーを配置し、地域との連携、関係の深耕に貢献したい。

アジア景観デザイン学会
2014 年台北大会

「コロombo首都圏における洪水対策と都市環境整備のとりくみ」

Prasanna Divigalpitiya¹ 九州大学
Prasanna Rathnayake² Department
of Archeology Sri Lanka.

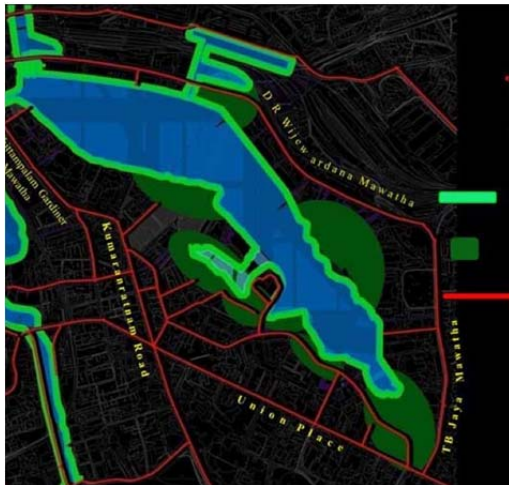


はじめに

2012年にスリランカ政府の都市開発と国防省(MoDUD)を洪水リスクの軽減と都市インフラやサービスの改善取組、メトロコロombo都市開発プロジェクト(MCUDP)を立ち上げた。そのプロジェクト目的は1)洪水防止2)インフラとサービスの向上である。

洪水防止のとりくみ

ベイラ湖がコロombo市内の湖と運河システムの部分ある。MCUDP計画ではベイラ湖は完全に修復されそのゲート、支流や出力チャンネルのブロックが解消される。不正な入植地とその建物によって引き起こされた汚染が修復されます。



都市環境と景観の取り組み

MCUDPと同時に実行される都市環境と景観の取り組みは湿地保護を向上させ、生物多様性公園、温室効果ガス排出量を削減、都市の環境を向上目的のプログラムである。

コロombo市は良いオープンスペースを欠いている。公共のオープンスペースを作ることが都市環境と景観の取り組みの中で重要な優先事項をされています。

以上





亞洲景觀設計學會 2014 台北研究大會

主題：與幸福接軌邁向未來景觀

日期時間：2014 年 11 月 29 日星期六 13:30-16:40

地點：中國文化大學推廣中心建國本部大廈館表演廳(地址：台北市建國南路二段 231 號 B1)

主辦：亞洲景觀設計學會 協辦：台北市中國文化大學

關於舉辦台北研究大會：

亞洲景觀設計學會設立的目的是在都市與農村等地域優秀景觀形成之設計的研究、開發、改良、發展上有所貢獻，並在日本與亞洲各個城市舉辦研究大會。此次非常榮幸能有機會來思考亞洲的據點城市，以設計都市為目標的台北市與亞洲其他各城市的全新發展。敬請踴躍參加。

13:00 開場

13:30 開幕致詞 坂井猛(亞洲景觀設計學會會長，九州大學教授。)

基調演講 (逐步翻譯，30 分鐘。)

13:35 2016 TAIPEI ADAPTIVE CITY 與台北市的都市色彩 李天任(中國文化大學校長)

第 1 部 台灣魅力再發現(逐步翻譯，20 分鐘。)

14:05 有關台灣景觀綠化牆應用 郭瓊瑩(中國文化大學景觀所所長兼系主任・教授)

14:25 近代建築與景觀活用 台灣嘉義案例 董建宏(中興大學景觀與遊憩學程助理教授)

14:45 台灣都市景觀 臨時性建築空間案例 郭維倫(中國文化大學景觀學系助理教授)

(休息 10 分鐘)

第 2 部 研究發表(逐步翻譯，各 20 分鐘。)

14:55 「九州大學箱崎地區近代建築綜合評價相關研究」 常岡稔(TM 環境・建築研究所)

15:15 「透過公共藝術創造記憶深刻的景觀—都市與歷史與人的關係」 渡邊真理(TOWNART)

15:35 「九州大學前學生宿舍的新生活方式構築」 國將弘(三好不動產)

15:55 「斯里蘭卡活用水景的景觀設計」 Prasanna Divigalpitiya(九州大學副教授)

16:15 學會表彰發表 坂井猛(亞洲景觀設計學會會長，九州大學教授。)

16:35 閉幕結語 佐藤優(亞洲景觀設計學會名譽會長・九州大學副理事)

16:40 閉幕

About the Urban Color Environment and 2016 Adaptive City in Taipei.

1. 研究背景與目的

台北市自日本統治時期以來，至近代都市計畫，開創了現代都市景觀的風貌。特別是在當時的建物周邊，對其周邊環境造成很大的影響。戰後經濟蓬勃發展後，到處可見現代、人工的景觀。現在的台北市，歷史、自然及現代化的生活空間共生了多元的文化交流，孕育出富有變化的環境。如何利用這些特點使台北更具魅力、保有台灣的獨特文化且環境色彩能調和，是未來台北市朝現代化、國際化發展的重要課題。台北市政府正計畫參加 2016 年世界設計之都，期待在環境色彩及環境設計上藉由風土與景觀融合所形成之都市環境，具有其文化傳承之實質意義。

2. 調查方法

運用自然色彩系統(Natural Color System, NCS)來操作環境色彩調查。環境色彩調查以視覺景觀之主色調為主要研究對象，本次調查特別著重於步行的環境色彩。

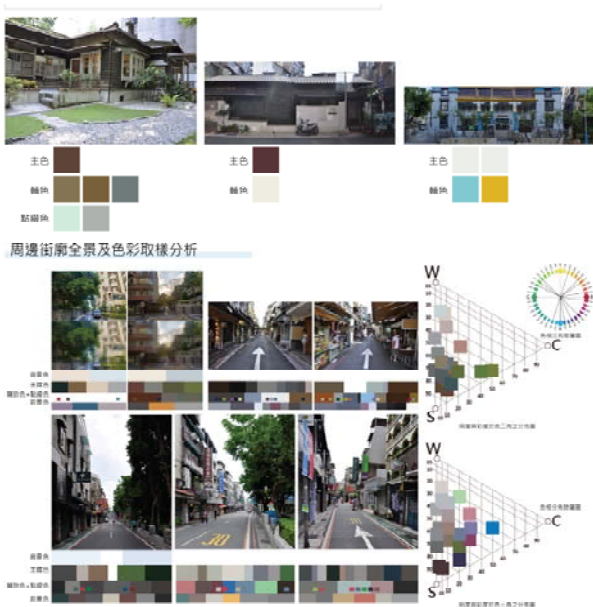
除此之外，在環境色彩調查上①遠景-以鳥瞰的角度俯瞰整體地形、②中景-掌握地區的自然與文化色彩、③近景-捕捉場景的意含。在景觀的環境色彩中涵蓋了材料的顏色、事物及豐富的自然色彩，這些皆透過色票來一一檢測。

3. 結論

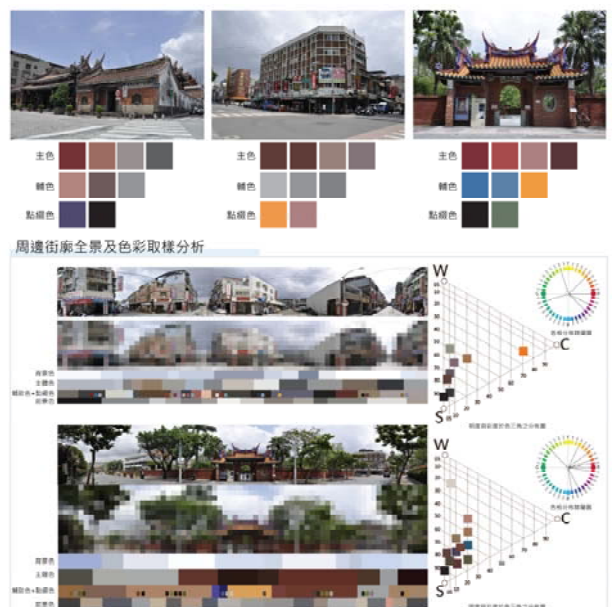
台北市的環境色彩與環境組成的關係分析結果，根據每一地區其產業的複雜性與其色彩配置有顯著關連。尤其是商業區，創造了一個熱鬧、有活力的城市色彩景觀。另一方面，清代、日至時期所保留的風格建築物，新舊建築物共存也創造了一個怡人的景觀魅力，今後在 2016 年世界設計之都必能展現更多的城市價值。

参考文献

- 1) 小林重順 (1994). 景觀の色とイメージ 生態学的心理学入門 ダヴィッド社.
- 2) 台北市政府都市發展局(2013), 台北市城市色彩計畫。



台北市大安區青田七六



台北市大同區保安宮

Case Study of Green Roof and Vertical Greening in Taiwan

台灣人口密集，建成區發展非常緊密，整體而言開放空間及綠地不足。近年熱島效應、氣候暖化更使都市地區年年均溫較全球均溫高出 1.5°C，以台北市為例平均每人只享有 5.1m² 綠地。以台北市為例，自 2009 年推動國際花博開始已要求各工地圍籬必須設置綠籬以取代傳統圍籬。並推動中小學屋頂綠化綠牆，以及「台北好好看」鼓勵空地綠化及都市更新基地之先期綠化。

在都市設計審議中亦鼓勵立體綠化，以作為容積獎勵評估之指標。自 2014 年一月起各大都市之建築管理規範亦要求新建築屋頂應有 50% 以上必須綠化。

而在台灣「綠建築」標章之推動制度中亦鼓勵各大公共工程住宅以及商業建築、旅館等，進行綠屋頂與立體綠化。同時台灣亦有民間成立之「綠屋頂協會」提供相關知識技術與訓練。

茲以現階段台灣各城市進展之綠屋頂與立體綠化案例做簡報，將公私部門不同尺度之努力成效與各位專家分享交流，並祈予以指正，敬請指教。



一、計畫理念

透過由下而上的規劃制度以及社區與社區間彼此營造經驗之交流，引導社區民眾主動關懷與重視住家環境之營造，帶動居民投入社區綠美化的風氣。

二、計畫目標

1. 將綠化的美感帶入市區，透過社區規劃師與社區居民的合作模式，參與生態城市設計與推動。
2. 進行至少 40 處髒亂與閒置空間的改造，以綠化修補市容，增加透水面積，塑造優美且具視覺穿透性之公共開放空間。
3. 增加市區綠覆率，減少熱島效應。
4. 提升街道門面景觀綠美化，培養市民生態城市概念。
5. 進行郊區社區綠美化，消除髒亂點，倡導綠色家園。
6. 導入節能、減廢、通風透水、基地保水、資源再利用、綠覆率提昇、生態復育、城市美學等理念，以簡樸方式設計，強調省力省時、低維護，融入綠建築觀念，選購材料優先採用環保產品及資源再生品，佈建生態城市之基本架構。

三、工作項目及內容

1. 社區居民說明會
於東、西區各辦理一場計畫說明會，廣邀里長、社區發展協會、社區規劃師等社區代表，講述計畫操作的模式及執行內容與流程。
2. 外縣市交流觀摩活動
參訪台南市西湖社區及大湖社區，透過里長與社區解說員的講解與帶領，了解台南市目前社區參與綠美化的情形，分享彼此社區營造的過程，汲取其他社區營造成功經驗，供學員後續規劃設計提案參考。
3. 培訓工作坊
社區環境改善成功與否首重人力的培訓，因此在計畫執行初期，開辦培訓工作坊，安排社區

營造過程及經驗分享等相關課程，透過學習傳達正確的概念，增添生活美感與培養社區自主營造能力。

四、社區營造成果

把綠美化帶的生態與美感帶入社區，也培育社區規劃人才，為社區注入自主營造的動力，參與培訓的學員，均是社區重要靈魂人物，具有領袖地位，對帶動生態社區、美化社區，透過社區環境改善的執行，凝聚居民的社區意識，展現社區新活力，成為城市生態化的主要動力。



嘉義市社區營造點分布圖

五、結論

從城市生態化、市容景觀的綠美化、雨水滲透率、減緩都市熱島效應、提供物種更多棲息空間、減碳與提昇空氣品質等層面來看，增加綠覆面積與透水面積，都具正面效益。

社區環境改善成效比較表

項目	營造點總面積(m ²)	綠覆面積(m ²)	透水面積(m ²)
98 年度	1058.5	688.6	761.5
99 年度	4279.0	2871.8	3386.2
99 年度增加	3220.5	2183.2	2624.7
提升百分比	304.2%	317%	344.6%

The Landscape Architecture in Taiwan – Case studies on Spatial Composition of Temporary

1. 研究背景與目的

本研究的重點在於「暫時性空間」所產生的台灣特殊街道景觀結構，並探討夜市環境在空間上與時間上的關聯性。在台灣「暫時性空間」的使用可說是日常生活道路與商業的良好寫照，人們自然而然的聚集了並且形成了熱鬧的生活樣貌。特別在台灣的都市之中，夜市環境雖然是一個擁擠的、高密度滿溢出來的環境，但蘊藏了人與人之間的交流及生活感，這些空間不僅是台灣特有的，亦是產生亞洲都市的重要元素之一。

2. 基地調查與方法

本研究所調查的都市為台北市、台中市、高雄市及花蓮市。在上述基地中，調查夜市中暫時性空間與街道建築與店鋪之間的關係。特別著重於建築的店鋪與街上的攤販如何與周邊環境結合，並分析其暫時性空間的類型及結構，以下為本次調查的空間類型。

3. 暫時性空間的空間組成類型

3-1. 移動式

3-1-1. 路上販賣類型



台北師大夜市的沿街攤販

3-1-2. 移動車輛類型



台南花園夜市的車輛攤販

3-2. 搭接式

3-2-1. 簡易搭接類型



台中逢甲夜市簡易搭接類型攤販

3-2-2. 臨時推車類型



台中逢甲夜市臨時推車類型攤販

3-3. 固定式



台北師大夜市固定式店鋪

4. 總結

在台灣的都市中，在空間設計上吸引人們聚集的要素的並不是被計畫的建築設計、景觀設計、都市設計及都市規劃；研究發現其因素應為暫時性形成之行為設境(Behavior Setting)空間為其主要的因素之一。

參考文獻

- 1) ウィッカー A.W. 安藤延男(訳) (1994). 生態学的心理学入門 九州大学出版会.
- 2) 出口敦 (2005). アジアの都市共生－21 世紀の成長する都市を探究する 九州大学出版会.

Evaluation of Modern Architecture on Kyushu University Hakozaki Campus

1. 研究背景與目的

九州大學現處於即將移轉到福岡市西部新建設校區的過渡期，舊校區箱崎地區預定處分賣出。箱崎自1911年九州大學設置以來，經過百年的活動，殘留了多數近代建築物等資產。本研究的目的為，從歷史、建築學、文化及再活用的多樣觀點，來針對散落在箱崎地區的近代建築物進行價值檢證的方法構築。

2. 研究方法

對於評價，首先，以學校內外的學者專家為主，從其成員中組織了一群工作團體(如表 1)。以現存1910年代到1960年代約30件的近代建築物為現場調查對象，經過委員們對建築物的現場調查後，鎖定24棟的建築物及3樣工程物，進行評分與評估，並且針對建築手法加以考察。

3. 近代建築物調查工作團體

2012年度，組織了九州大學遺跡利用未來願景檢討委員會，進行遺跡利用願景策畫。在同委員會裡設置「九州大學箱崎校區近代建築調查工作團體」，從2012年4月27日起至12月4日止，舉行了7次檢討會。

4. 評估項目的選定

工作團體限定了適合評估近代建築物的客觀評估事項，其為歷史的評估、建築學上的評估、文化上的評估、及再活用度的評估等4個大項目。其下的中項目則設定了7個項目(大學的歷史變遷與畢業生的記憶、社會・時代・產業遺產、營繕制度、技術史・建築工法・素材・建築設備・環境關心、文化上的資產、地區的貢獻度、及再利用)，收集了各委員的評分(如表 2)。

5. 評估結果與考察

關於箱崎地區的近代建築，得到了以下的見解。

確認了九州大學箱崎地區的近代建築物群，集結了百年歷史與文化，為一社會的、都市的資源，多數的建築物並保有有形文化財的價值。

箱崎校區的南東方地區是九州帝國大學歷史與文化的搖籃及成長的地方。在那裡聚集了多數高評價的建築物。

表 1 近代建築物之調查WG委員會 (2012年4月)

■委員長	常岡 稔	TM環境・建築研究所・代表
■委員	佐藤 優	九州大學副學長(サイン, 景觀)
	折田悦郎	九州大學教授(日本近代大學史)
	高田 仁	九州大學准教授(經濟學)
	蜷川利彦	九州大學教授(建築構造)
	土田充義	鹿兒島大學名譽教授(建築史)
■オブザーバー		
	坂井 猛	九州大學教授(建築、都市景觀)
	市原猛志	九州產業大學景觀研究センター, 博士研究員(近代遺產)

表 2 評估結果 (一部)

順位	種別名稱 (建設当初名稱)	構造	面積 (㎡)	評点 (満点)	評点の 合計	建築物評価				建築手法評価			
						歴史・文化	建築學	文化・生活	環境・都市	工法・素材	設備・環境	技術史	建築史
1	工學部本館	鋼筋コンクリート造、一部木造	15,324	94	19.81	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83	2.83
2	本部第一庁舎 (伝染病研究室)	煉瓦造	2,988	92	19.47	2.83	2.66	2.83	2.66	2.83	2.83	2.83	
3	正門警衛所	煉瓦造	34	84	17.82	2.83	2.50	2.50	2.33	2.66	2.50	2.50	
4	保存図書室(国文学部図書 関係図書室)	煉瓦造	3,008	83	17.48	2.66	2.00	2.66	2.33	2.50	2.33	2.50	
5	本部第三庁舎	煉瓦造	2,288	81	17.15	2.66	2.50	2.50	2.50	2.50	2.33	2.16	
6	国定方生産課本館 (国文学部本館)	煉瓦造	9,570	80	16.81	2.66	2.50	2.83	2.16	2.33	2.50	1.83	
7	応用物質化学機室 (応用化学機室)	煉瓦造	2,192	77	16.31	2.50	2.83	2.66	2.50	2.33	1.83	1.66	
8	国文学部心理学教室	煉瓦造	2,428	72	15.32	2.50	2.50	2.33	2.16	2.00	1.83	2.00	
9	福岡南洋工芸製菓 (造船学実験室)	煉瓦造	602	69	14.65	2.50	2.33	2.33	2.50	1.83	1.66	2.50	
9	創立五十周年記念講堂	煉瓦造	8,117	69	14.65	2.50	2.50	2.16	2.33	2.16	2.00	1.50	

評價最高的建築物為工學部本館、本部第一廳舍、正門警衛室。其評價不單只是單獨的建築物，作為建築物群也獲得高度評價，期望能再保存利用。

假如要再活用箱崎校區的近代建築物，除了要依據建築基準法做法律上的用途變更外，為了確保其安全性，防止老舊腐朽，必須施工防止地震及颱風等外力所引起的損傷及傾倒。因此為了再活用，支付相當額度的費用為一存留的課題。

遺跡利用願景策畫委員會檢討了本研究的評估方法與評估出的結果，評定出特別值得保存的3件建築物，並檢討了保有特徵性設計近代建築物的活用方法。委員會並策定了可永續成長並產出新活力與交流為基本方針的遺跡利用願景，此願景可移轉至遺跡利用計畫的策定。

參考文獻

- 1) 平成17年度九州大學箱崎校區內歷史資源現況調查成果報告書，九州大學，2007年2月
- 2) 九州大學箱崎校區遺跡利用未來願景，九州大學箱崎校區遺跡利用願景檢討委員會，2013年2月



亞洲景觀設計學會 2014 台北研究大會
公共藝術刻劃記憶的景觀製作—都市、歷史、人群--

城市藝術股份有限公司 渡邊真理

城市藝術股份有限公司為一間從 1980 年代開始，以「製作具有創造性的公共空間」為目的，致力於用公共藝術來創造環境的製作公司。近年來，除了呈現了賦予觀眾訊息、保留了地區歷史與人文記憶、或是參與了與人民一同實際創造過程，更逐漸發展成一個與大家一同思考一同創作的特有製作場域。

今日將介紹本公司在日本與台北的建案中挑出具有公共藝術刻劃出歷史與記憶，並且富有高訊息性的景觀製作的實例。

【實例 1 中島廣場・名古屋】

以再生材為象徵使用於藝術作品・連結未來

隨著豐田汽車・每日新聞・東和不動產大樓的老舊，舊大樓拆除後基地統合，三公司合蓋成內含有辦公室、文化、商業設施等超高樓的複合型大樓，此為一重建新生的再開發事業。實際使用再生材，並藉由藝術來傳達每間公司舊大樓的回憶、歷史、對未來的期待與企業的理念。那樣的景觀製作在設施的裡外到處被採納。



【實例 2 微風塔・大阪梅田】

建築與藝術無邊界的景觀製作・重現已失去的情景

曾為水之都，但經由不斷地覆蓋，變化成現今現代城市的西梅田地區。在它的地下道裡，利用藝術作品創造出，就如同挖掘歷史中水遺跡一般，刻劃出力道強勁的水流通往微風塔迎接客人到來，讓人印象深刻的景觀。



【實例 3 理化學研究所・計算科學研究機構】

視覺性地呈現出日本引以自豪的研究歷史與現在・未來

擁有未來世代超級電腦(京速電腦「京」)、孕育出先進的科學成果、連結到地球規模問題解決與技術革新等。這個設施是日本數一數二國際性的研究據點，並時常有外國研究者的來訪。在迎接入館者的迎賓入口計劃裡，有著視覺性地呈現出日本引以自豪的研究歷史與連結現在・未來，那樣象徵性的景觀製作需求。在此藝術作品被寄予高度期待。

【實例 4 台北市立大學(舊台北體育學院)・天母校區】

向內心傳達訊息、讓街道與人們參與、成長循環的景觀

位處都市的十字路口，擁有市民可自由使用的公共廣場，與地區的日常生活的緊密連結的大學校區裡，作為台北市政府的公共藝術事業，用藝術作品讓街道與人們參與，創造出製造永續循環的場所。不只是當為蘊含著歷史與訊息的都市地標，在創造市民活動周期並孕育人們對它喜愛的同時，不斷成長與變化的植物的存在，形成了都市與人共生的豐富景觀。



Lifestyle Development of Private Dormitory in front of Kyushu University

1. 研究背景與目的

九州大學預定於 2019 年全部遷校至福岡市西部的伊都新校區，約 2 萬人學生與教職員即將通勤到校。根據 2001 年產官學所策劃的九州大學學術研究都市構想，鄰接地區的元岡經由土地區劃整理事業即將轉變成九大新市鎮，開發為研究機構與學生居住地等。本研究即以九大新市鎮裡新的民間學生宿舍為對象，以闡明學生居住新生活型態為目的。

2. 建商與學生的工作坊

藉由學生與建商的工作坊形式，不斷交換民間學生用集合住宅的計劃與運用的意見。其設施的概要如下。

- 建物名:九州大學前學生宿舍
- 所在地:福岡市七區元濱 1 丁目 20 番 2.3.6.7
- 基地面積:1616.89m² (約 489 坪)
- 構造規模:7 樓鋼筋水泥
- 規模:建築面積約 4585m²
- 組成: 住房 140 間、會議室 4 間、IT 大廳、餐廳、屋頂陽台
- 工期:2014 年 5 月 1 日~2015 年 3 月 14 日
- 設計:每日 KOMUNET 股份有限公司
- 施工:內藤工務店股份有限公司

3. 工作坊的成果

學生與建商的工作坊從 2013 年 8 月開始到 2014 年 3 月止，總共舉辦了 8 次。集結出的意見如下。

- 需要社團活動、同好會等可使用的場所
 - 將不需要的書帶來、設置可以收藏的書櫃，不知大家認為如何?
 - 需要不管是一個人或是朋友聚集可以讀書到深夜的小工作空間
 - 需要一個學生可以輕鬆進出、與他人進行溝通的空間
 - 需要一個玻璃牆面、容易讓人聚集的環境
- 然後，在都市設計會議九大(UDCQ, 產官學的城鎮建造會議)，2013 年 9 月舉辦了一個工作坊，匯集了參加者的意見。
- 「地區居民會」想要謀設一個與學生交流的場所，但是要跟誰商量呢?
 - 不如設置一個派對或活動等可以使用的空間，並且開放給地區居民使用?

- 做成玻璃牆面，讓人看到裡面在做什麼，促進城鎮的活力。也可以減輕建築物帶來的壓迫感。

雖然是少數，但是為了融入不了大學生活整天躲在宿舍裡然後退宿的學生，必須要有事前的對策。且小孩獨立過生活讓父母最操心的就是三餐、安全、生病時的對應等等。必須要有一個寬鬆可守護的環境。

4. 針對學生用集合住宅計畫的回應

針對工作坊所提出的意見，反映到計畫裡的事項如下。

(1) 設置 4 間會議室

每層樓設置備有桌椅的會議室，並且裝設訂製的書櫃。這 4 間裡其中一間當為 IT 大廳，經由九州大學系統 LSI 研究中心石田浩二副教授的協助，裝設 WIFI 環境，讓學生可以帶手提電腦進來開會。並且為有大量列印需求的學生在宿舍裡設置一台彩色複合機，只要將需要列印的文件上傳到雲端，在複合機上進行個人認證後即可將文件列印出。

(2) 設置 24 小時開放性的餐廳

24 小時可以自由使用餐廳空間，設置 WIFI 的網路環境，並設置可以支援午夜集會的泡麵自動販賣機與食品販賣機等，並讓大家可使用大畫面來觀賞體育競賽。

(3) 屋頂陽台

在四樓的上面設置屋頂陽台，在可觀望伊都校區的陽台上，提供一個可以烤肉、讀書、休憩的空間。

(4) 元岡沙龍

宿舍的一樓全用玻璃立地窗來裝潢，做為一個地區居民會、學生、教職員等，誰都可以自由參加進行交流的空間。並且設置一個介紹房屋的不動產店鋪，幫助學生尋找住宿處。

(5) 安全與守護

大廳入口與各層樓的入口處設置自動上鎖門，並在餐廳的用餐管理上使用 IC 卡安全系統。和宿舍鄰近的森本醫院合作，建立急病患者對應與轉介至適合其疾病醫療醫院的體制。餐廳也會提供身體狀況不佳學生清粥等病人食用的餐點。

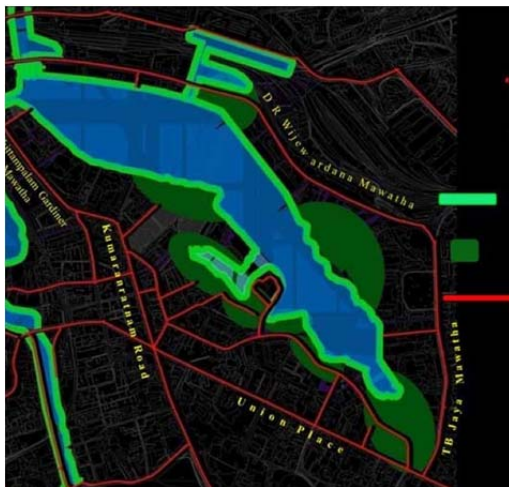
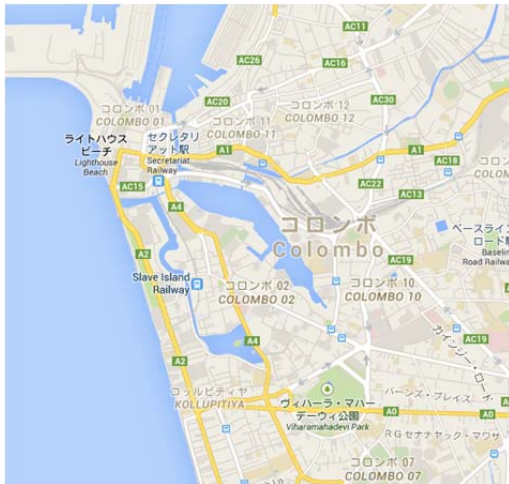
(6) 宿舍學生領導的設置

在宿舍開始營運的第二年，導入宿舍學生領導的制度，配置一些學生領導，不只是學生的社群，也能積極參與地區居民會或與地區居民交流等。期望這個制度能夠貢獻於與地區的聯繫及關係的深耕。

亞洲景觀設計學會 2014 年台北大會

Prasanna Divigalpitiya¹ 九州大學
Prasanna Rathnayake² 斯里蘭卡考古部門

可倫坡首都圈洪水對策與都市環境整備的嘗試



前言

2012 年斯里蘭卡政府的都市開發與國防部(MoDDU)為了減少洪水發生的風險，與改善都市基礎建設及服務等，發起了首都可倫坡都市發展計畫(MCUDP)。其計畫的目的在於(1)洪水防治、(2)基礎建設與服務的提升。

洪水防治的努力

貝拉湖是可倫坡市內的湖泊與運河系統的一部分。在 MCUDP 計畫中，貝拉湖將被修復，其匝門、支流、輸出渠道等的阻塞也都將被解除。非法的入侵地及蓋於其上的建築物而引起的汙染等也將被修復。

都市環境與景觀的努力

與 MCUDP 同時執行的都市環境與景觀的努力，則以提升溼地保護、生物多樣性公園、減輕溫室效應二氧化碳的排出、改善都市環境為目的的計畫。

可倫坡市缺乏一個良好的開放式空間。應將建設公共開放空間作為都市環境與景觀的努力中最重要最優先的發展事項。

以上